

**製品名: Nodal ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14780**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	40kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NODAL
別名	NODAL; Nodal homolog
遺伝子 ID	4838.0
SwissProt ID	Q96S42
免疫原	抗血清はヒト NODAL の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 294-343

**背景**

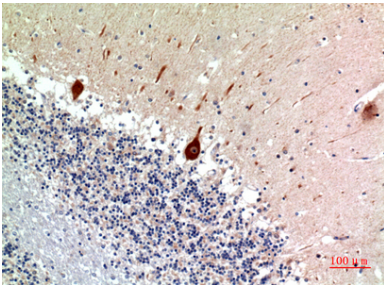
この遺伝子は、TGF- $\beta$  (形質転換成長因子  $\beta$ ) スーパーファミリータンパク質の分泌リガンドをコードします。このファミリーのリガ

ンドは様々な TGF- $\beta$  受容体に結合し、遺伝子発現を制御する SMAD ファミリー転写因子のリクルートメントと活性化をもたらします。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって成熟タンパク質に変換され、初期胚発生を制御します。このタンパク質はヒト胚性幹細胞の多能性維持に必須であり、ヒト胎盤の発達にも関与している可能性があります。この遺伝子の変異は、左右軸に対する内臓器官のランダムな配向を特徴とする異位性転座と関連しています。 [RefSeq 提供、2016年8月],疾患: NODAL の欠陥は、位置不明の原因となる可能性がある [MIM:601265]。機能: 胚発生中の中胚葉形成と軸パターン形成に必須。類似性: TGF- $\beta$  ファミリーに属する。サブユニット: ホモ二量体; ジスルフィド結合。,

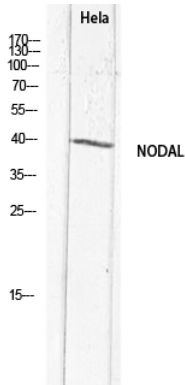
## 研究分野

TGF-ベータ;

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



NODAL 抗体を用いた HeLa 細胞溶解のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。